

私たちの道

MC WAY を感じる

当社の BPR 支援の目指すもの

1. バックオフィス業務で感じること

- BPSの業務において、人事、総務、経理といったいわゆるバックオフィスに従事する人と接する機会が多い
→ 従前運用を踏襲することにこだわり、変化を避け、必要に駆られないと動かないケースが多々ある
- インタビューをすると、「何も考えていない」のではなく、適切な課題感を持っているケースも多い
- クラウド、業務効率化(BPR)、生産性向上、キーワードは世に溢れているので、自身の業務の改善を考える機会(きっかけ)は着実に増えている
- なぜ動かないのか?
→ ルーティンが変わる恐怖? 変化に対しての拒否感? 他責思考でアクションを起こさないこと?

2. 結果として起きていること

- 作業の属人化 → 全体目線がないため個人個人が好きにカスタマイズしていく、ブラックボックス化
- 生産性低下 → オペレーションの煩雑さが年々増加し、非効率な方法が貯まっていく
- 社内満足度の低下 → 手続き(各種申請、計算など)のミスが起き、社員からのクレームが発生

3.BPR 支援において大事にしたいこと

- 経営層の想いを噛み砕いた言葉で伝えること
→ 社内だからこそ、言葉の真意まで伝わっていないことが多い、分かり易い言葉にして橋渡しをする
- 担当者の意識を変化させること
→ 担当者の想いも聞きながら、経営層に FB し、改善の思考や全体最適の考え方を根付かせること
- 一般的なBPR=プロセスの視点で、職務、業務フロー、管理機構、情報システムをデザインしなおす
- みらいコンサルティングのBPR=より良いプロセスを追求することだけでは会社は変わらない、会社全体の未来を見据えて、双方の「想い」に寄り添った支援を行う(=他社との差別化、UVP)